

第61回全国学校体育研究大会 滋賀大会

大会主題

「豊かなスポーツライフの実現を目指した、子どもたちの
発達段階に応じた系統的な体育・保健体育学習の充実」



びわ湖フローティングスクール

学習船「うみのこ」：滋賀県の小学5年生が乗船するびわ湖の学習船です。

令和4年

11月10日(木)・11日(金)

主催：スポーツ庁 公益財団法人日本学校体育研究連合会

共催：滋賀県教育委員会
大津市教育委員会 草津市教育委員会

主管：第61回全国学校体育研究大会滋賀大会実行委員会

滋賀大会実行委員会事務局
(滋賀県教育委員会事務局保健体育課内)

〒520-8577 滋賀県大津市京町4丁目 1-1

TEL (077) 528-4627

FAX (077) 528-4955

大会趣旨

これからの時代を生きる子供たちが、明るく豊かで活力ある生活を営むためには、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現することが重要である。これに向けて平成29・30年告示の学習指導要領では、児童生徒が身に付けるべき資質・能力を「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理し、その内容等の改善が図られた。加えて児童生徒が体育・保健の「見方・考え方」を働かせながら学びを進められるように指導を改善すること、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが示された。令和3年度までには、幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の小学部・中学部においては学習指導要領（幼稚園は幼稚園教育要領）が全面实施され、令和4年度は、高等学校と特別支援学校高等部においても年次進行で開始され、全ての校種において実施される年であり、その趣旨を踏まえ、指導内容の系統性を重視したより質の高い体育・保健体育学習の展開とその共有が求められる時期だといえる。

滋賀県では、学習指導要領の趣旨の実現を目指して、昭和36年（1961年）から小・中・高に研究指定校を設定し、積極的な授業研究を行ってきた。毎年、「滋賀県学校体育研究発表大会」での発表を通して、その成果の共有を継続している。各校種において、指導と評価の一体化を図った単元計画を作成することの重要性について共通理解が進んだことは、その成果の一つといえる。さらに平成23年（2011年）からは特別支援学校も加わり、現在では小・中・高・特支の各校で公開授業を実施するようになり、校種を超えた授業交流を展開しているところである。

本大会では、これまでの本県における研究成果を提案し、育成を目指す資質・能力の三つの柱を幼児児童生徒が意欲的に身に付けようとする授業の在り方について検討したい。またカリキュラム・マネジメントの視点から、校種間の接続を重視した指導内容の系統性を整理・確認し、目指すべき体育・保健体育学習の姿を追及したい。このような経緯から、本大会主題を「豊かなスポーツライフの実現を目指した、子どもたちの発達段階に応じた系統的な体育・保健体育学習の充実」と設定し、公開保育・授業及び研究協議を行うものである。

11/10

木

第1日目 全体会

会場：大津市民会館 大ホール
(大津市島の関14-1)

9:30	10:40	12:00	14:00	17:00
受付	開会式	表彰式	基調報告	昼食
10:00	11:30	13:00	15:50	
			シンポジウム	特別講演

11/11

金

第2日目 分科会

会場：各公開園・学校

9:00	12:00	15:00
受付	公開保育・授業	昼食
9:30	13:00	
	研究発表・研究協議	指導講評
		閉会式

※第2日目(分科会)の日程は、会場により多少の違いがあります。



校 園 種	分科会番号	会 場 名
幼 稚 園	第 1 分 科 会	大 津 市 立 平 野 幼 稚 園
小 学 校	第 2 分 科 会	大 津 市 立 瀬 田 東 小 学 校
	第 3 分 科 会	大 津 市 立 平 野 小 学 校
	第 4 分 科 会	草 津 市 立 老 上 西 小 学 校
	第 5 分 科 会	滋 賀 大 学 教 育 学 部 附 属 小 学 校
	第 6 分 科 会	大 津 市 立 志 賀 中 学 校
中 学 校	第 7 分 科 会	草 津 市 立 老 上 中 学 校
	第 8 分 科 会	滋 賀 大 学 教 育 学 部 附 属 中 学 校
	第 9 分 科 会	滋 賀 県 立 石 山 高 等 学 校
高 等 学 校	第 10 分 科 会	滋 賀 県 立 草 津 東 高 等 学 校
	第 11 分 科 会	滋 賀 県 立 野 洲 養 護 学 校